

第5次新庄市総合計画後期5か年基本計画(案)パブリックコメントへのご意見・ご提案

ご意見・ご提案	関連する政策分野	市の考え方	計画への反映等
<p>人口減少に伴う少子高齢化や若者の流出への対応、また国内外からの観光客増加への課題など、新庄市においても多くの課題があるということを普段の生活の中で私も感じています。こうした状況の中長期的な視点で地域の将来を見据え、一市民として、現状以上に最上地域内の複数自治体による連携事業の拡大や、市町村合併も含めた選択肢について、計画案に位置づけて検討していく必要があるのではないかと考えます。</p> <p>私は平成の大合併の最中の2005年に生まれましたが、その前後で本市においても合併の検討が行われたものの、最上地域では協議会が二度解散し、結果として合併は実現しませんでした。平成期の合併は「望ましい」とされながらも、期限や数値目標が設けられ、急ぎすぎた合併も存在した側面もあったように感じています。</p> <p>一方、現在は当時と比べて人口構成や地域を取り巻く環境も大きく変化しています。合併の検討には時間を要し、住民理解が不可欠であることは言うまでもありませんが、最上地域内では転入・転出や買い物、通勤・通学など、日常生活において市町村を越えた結びつきが今も根強く、人口減少による他町村の生活の足や商業施設の減少や高齢化により更に市町村を超えた結びつきは増加しているように感じます。仮に地域全体での合併を想定した場合、観光分野での資金や人手の強化や、新庄駅を起点とした広域的な観光動線の構築、公共交通の再編。また、若者に焦点を当てると人口の多い他地域で行われているものの、東北地方や本市、最上地域では行っていない、十分に拡充されていないがゆえに流出につながってしまうこともあるように感じます。様々な事業にさらに積極的になることで人口増加に向けての利点にも繋がると考えています。このように市内のみならず広大な地域全体の利点を生かした施策展開が考えられるのではないのでしょうか。</p> <p>他地域の例として、大阪府では2024年に、市町村の行政機能の維持・拡充を目的とし、状況に応じて市町村合併も視野に入れることを明記した条例が制定され、実際に府内では合併協議会が設立されている市町村もあります。</p> <p>平成の大合併とは異なり、現在は国主導や期限付きではない形で、時間をかけた無理のない検討を行うことが可能な状況にあると考えます。まずは新庄市。更に最上地域内における連携事業のさらなる拡充とともに、選択肢の一つとして市町村合併についても整理・検討を進め、住民意向を丁寧に把握しながら、持続可能な地域づくりにつながる計画としていただくことを期待します。</p>	<p>行財政運営</p>	<p>人口減少や少子高齢化、若者の流出といった課題は、まさに本市が直面している重要な問題であります。ご意見にあります最上地域内での市町村連携につきましては、現在、新庄最上定住自立圏構想に基づき、8市町村が連携して様々な取り組みを進めております。具体的には、観光振興、公共交通の維持・確保、医療・福祉の充実、教育・文化の振興など、住民の皆様の日常生活に密接に関わる分野で連携を深めているところです。ご指摘のとおり、最上地域では市町村を越えた日常的な結びつきが強く、この地域特性を活かした更なる結びつきの強化は極めて重要であると認識しております。新庄駅を起点とした広域観光の推進や公共交通の再編、若者の定着に向けた魅力的な施策の展開など、定住自立圏の枠組みを活用しながら、より効果的な取り組みを検討してまいります。市町村合併につきましては、平成の大合併とは異なる環境下であり、時間をかけた慎重な検討が可能な状況にあると考えておりますが、住民の皆様の日常生活圏や経済圏の実態、そして将来にわたる持続可能なまちづくりの観点から、様々な選択肢について調査研究を行ってまいります。</p>	<p>新庄最上定住自立圏については、まちづくりの柱8施策3に位置付けています。</p>
<p>柱1→結婚している人達への支援の内容しか具体的に書かれていない。また、結婚していない人達への支援の内容が足りないと感じる。独身男女への支援が手薄いと感じる。婚カツ希望者の登録などの事は知っているが、平日に婚活イベントを催してサービス業の人達が婚活イベントに参加しやすい環境を作してほしいと思う。</p>	<p>結婚</p>	<p>独身の方々への支援としては、県のマッチングシステム登録への助成等に取り組んでおりますが、周知方法を検討してまいります。また、最上地域の8市町村で組織する最上地域広域婚活実行委員会事業において、イベントの平日開催など、多様な働き方に配慮した取り組みについても検討してまいります。</p>	<p>まちづくりの柱1の施策1に、最上地域広域婚活実行委員会で行っている出会いの場づくり、また新婚世帯への支援の記載を加えました。</p>
<p>・子供が安全に遊べる屋内施設が少ない。身体能力向上の為に、誰でも遊べるアスレチック施設があるといい。独身者が子供に必要な声掛けがとてもしにくい。(道路で危険な歩行や行動、危険箇所などで遊んでいる事への注意など)子供とのコミュニティが親のみに絞られていて、ちょっとした事でも注意しにくい環境になってきているのを何とかしてほしい。誰だって子供を守りたい。</p> <p>・子育てに関しては、親目線の「子育てがしやすい」といえる環境を整備する必要があると考えます。経済的な支援には限度があるという事に加えて、新庄市の義務教育学校を経たことを踏まえ、子育てタクシーの強化を提案します。両親が働かなくてはならない事からも、課外活動における負担を軽減できると考えます。</p>	<p>子育て</p>	<p>【子供が安全に遊べる屋内施設】 こども達が雪や雨の日でも遊べる屋内遊戯施設として「わらすこ広場」を設置しており、令和8年度にはリニューアルを予定しています。遊び場としてはもちろん、子育て世帯の情報交換や交流の場としてご利用いただけるよう、利用しやすい環境づくりも検討してまいります。</p> <p>【「子育てがしやすい」といえる環境を整備】 子育てがしやすいといえる環境の整備は当市において大きな課題の一つであり、様々な視点からの検討が必要と捉えています。子育てタクシーにつきましては、現在民間事業者に取り組んでいただいておりますが、共働き世帯の課外活動における移動負担を軽減する手段の調査研究を行ってまいります。</p>	<p>令和6年度に子育て世帯へのアンケートやニーズ調査を実施し、新庄市こどもスマイルプランを策定しました。まちづくりの柱1施策2、施策3に計画の内容を反映しています。</p>
<p>A型やB型の福祉事業所の仕事が製造業が主ですが、とても単価が安い仕事に限られる為、運営費の援助が必要だと思う。また、市長自らA型やB型の福祉事業所を訪問し、どのような事が大変なのかを理解していくことが必要だと思う。</p>	<p>福祉</p>	<p>福祉現場のニーズ把握は効果的な事業展開において重要であると認識しております。今年度、次期障がい福祉総合計画策定のための各種調査を実施しております。福祉ニーズの計画への反映に努め、必要な検討を行ってまいります。</p>	<p>障がい福祉の推進はまちづくりの柱3施策5に位置付けています。</p>

<p>・柱4 新規就農者の事も大事だが、新庄市で働きたい魅力的な仕事がない。海がない市だからこそ、魚を養殖する費用をクラウドファンディングで集めて起業支援をしたらどうでしょうか？</p> <p>・御当地クラフトビールが作られたのはよかったが、買える店が少ない。販路をもう少し増やしてもらいたい。</p> <p>・魅力ある働き方とは起業という発想ですか？今新庄市で働いている人達の事を考えて【魅力ある働き方】を提言してほしい。地域に愛着があっても、多様を理解している70歳以降の人達が理解できてないから難しいのではないかな？だから若年者回帰が進まないのではないかな？高卒や中卒までの学歴の30代からの人達を支援していけば20代のそういう人達も新庄市に帰ってきたいと思うようになると思う。</p> <p>・私は、現在大学生ですが就職活動を経て、就職を決める際にその企業への理解度が決めてになることが多いと感じました。そこで、新庄市の企業への就業者を増やしていくためには、インターンシップ等を通じて企業と若者のマッチングを増やす必要があると考えます。そこで、オンラインのインターン制度や、定期的な体験型のプログラム、インターンに係る宿泊費の助成等を検討して欲しいと考えます。</p>	<p>産業</p>	<p>【魅力的な仕事、魅力ある働き方】 若年層にとって魅力的な仕事の創出は重要な課題と認識しております。今年度、市の新たな産業集積の在り方を示す「新庄市産業振興ビジョン」を策定いたします。若年層の回帰、定住に向けて、こういった産業の集積が効果的か、関係団体と検討を重ねてまいります</p> <p>【企業と若者のマッチング】 就職活動のご経験を踏まえた貴重なご提案をいただき、ありがとうございます。市では、市内企業のインターンシップ受入情報をまとめたデータベースをホームページで公開しているほか、高等教育機関と連携した地元企業と学生の交流会の開催や、オンラインによる企業紹介などに取組み、地元企業の人材確保を支援しております。また、若者や女性が希望をもって新庄市で働くことができるよう、地元企業の魅力発信を強化し、市内就職や地元回帰の促進に取り組んでまいります。</p>	<p>まちづくりの柱4施策5に、新庄市産業振興ビジョンの内容を一部反映しました。</p>
<p>・新庄の観光ポイントが市街にも市外にも少ない。プロジェクションマッピングで新庄城神社に再現するとか見に行きたくなくなるような建物や演出がほとんどない。だから各商店にお客さんが流れてこない。はろ八口、新庄祭りや雪祭り、産業まつり、味覚祭りがなくて寂れた新庄市になっている事を指摘する。観光と事業を繋げれる箇所もないのではないかな？</p> <p>・今の新庄の魅力とは、市出身の漫画家を各所でパネルで紹介するだけが魅力ですか？置いているだけでは市民からしたら【それだけなのかな】と思う。それこそ、作者作品のキャラクターに限定したコスプレコンテストを開いて市で盛り上げてあげるのはどうでしょうか？</p>	<p>観光</p>	<p>観光振興につきましては、市民団体によるコスプレイベントなど多様な催しの実施も把握しているところです。新庄市を舞台とした漫画・アニメといったコンテンツを活用して、市民団体、民間事業者とも連携を図りながら観光誘客事業に取り組んでまいります。</p>	<p>まちづくりの柱4施策6に地域資源を活かした観光コンテンツの充実を位置付けています。</p>
<p>道路の整備も大事だが、歩道が狭い地区があり、歩道からはみ出して歩いている人がいる。シンプルに狭すぎて特に冬が危ない。</p>	<p>道路</p>	<p>特に冬期間の安全確保を含め、歩行者の安全に配慮した道路環境の整備を計画的に進めてまいります。</p>	<p>まちづくりの柱6施策3に、歩行者の保護を位置付けています。</p>
<p>・ラジオで市役所の各課の人達が新庄市の事を話し、アピールする行動を起こすべき。毎日ラジオをインターネット配信しているのを利用しないのがもったいない。地域おこし協力隊員ばかりに頼らず、他の市役所の人達も市のアピールをしていかないといいけないと思う。</p> <p>・新庄市には、情報提供媒体数が9つあるとありましたが、利用者が必要な情報を収集しやすい体制に検討して欲しいと感じます。どの年代で、どの媒体の利用者が多いのかという事を明確にした上で、情報整備ができると考えます。例えば、子育て支援制度をライフステージ別や用途別に情報を一元化した一覧を作成し、対象者が利用しやすい媒体で発信することや移住者に対する伴走する流れが明確になるコンテンツの作成と考えます。</p>	<p>情報発信</p>	<p>情報発信において、年代別の媒体利用状況を把握し、それに基づいて発信することは重要であると認識しております。市としては、ラジオ放送やSNS等媒体の特性を考慮しながら適切な情報発信を行い、市民の皆様が欲しい情報が伝わる仕組みを考えてまいります。また、子育て支援制度については、ライフステージごとの市の事業を分かりやすく伝えるためのパンフレット作成に取り組んでおります。移住された方、移住を検討される方にも分かりやすく、必要な情報を必要な方に確実に届けるため、広報媒体の工夫に取り組んでまいります。</p>	<p>まちづくりの柱7施策1に多様な情報媒体による情報発信を位置付けています。</p>
<p>・新庄に移住者が増えないのは、海のある県に人が行きやすいため。魚が安いのはとても魅力だし、何より購買意欲が増す。</p> <p>・転入者が増えないのは初期費用が少ないからではないかな？対策はニュース番組の移住特集コーナーを見て各県の支援を勉強したほうがいいと思う。</p>	<p>移住・定住</p>	<p>移住促進につきましては、他自治体の先進事例も参考にしながら、より効果的な方策を検討してまいります。ご紹介いただいたメディアの移住特集なども参考にさせていただきます。</p>	<p>まちづくりの柱7施策2に、関係人口の創出を追加し、令和8年度より取り組むこととしています。</p>